

8.2 生物の生育・生息基盤

8.2.1 調査事項

調査事項は、表 8.2-1 に示すとおりである。

表8.2-1 調査事項(東京2020大会の開催後)

区 分	調査事項
予測した事項	<ul style="list-style-type: none"> ・生物・生態系の賦存地の改変の程度 ・新たな生物の生育・生息基盤の創出の有無並びにその程度
予測条件の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・既存緑地の改変の程度 ・植栽基盤(土壌)の状況 ・緑化計画
ミティゲーションの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・地上部緑化として、約11,000m²の範囲に地上部緑化を行う計画としている。 ・地上部緑化及び防風植栽として高木、中木等を植栽する。 ・水門は締め切らずに適切に管理され、スポーツ競技が開催される場合を除いては、開門している運用とする。 ・植栽した樹木は、定期的な灌水、除草、剪定等により適切に管理する。 ・水門が締め切られた時は、水質保持のためポンプによる揚排水を行い海水交換を行う。

8.2.2 調査地域

調査地域は、計画地とした。

8.2.3 調査手法

調査手法は、表 8.2-2 に示すとおりである。

表8.2-2 調査手法(東京2020大会の開催後)

調査事項	<ul style="list-style-type: none"> ・生物・生態系の賦存地の改変の程度 ・新たな生物の生育・生息基盤の創出の有無並びにその程度 	
調査時点	東京2020大会の開催後(2021年度)とした。	
調査期間	予測した事項	施設竣工後の2021年7月及び10月とした。
	予測条件の状況	施設竣工後の2021年7月及び10月とした。
	ミティゲーションの実施状況	施設竣工後の2021年7月及び10月とした。
調査地点	予測した事項	計画地及びその周辺とした。
	予測条件の状況	計画地及びその周辺とした。
	ミティゲーションの実施状況	計画地及びその周辺とした。
調査手法	予測した事項	任意踏査による植生の状況及び緑化計画図の整理による方法とした。
	予測条件の状況	現地調査(写真撮影等)及び緑化計画図の整理による方法とした。
	ミティゲーションの実施状況	現地調査(写真撮影等)及び緑化計画図の整理による方法とした。

8.2.4 調査結果

(1) 調査結果の内容

1) 予測した事項及び予測条件の状況

ア. 生物・生態系の賦存地の改変の程度

計画地は、埋立てにより平坦化された人工地盤の区域であり自然地形等はなく、造成後に植栽された落葉広葉樹、常緑広葉樹、常緑針葉樹が生育する土壌表面には落葉等による腐植層が成立し、土壌動物の生息環境として利用されるほか、特に都市部における動物の生息環境を創出する植生の生育基盤が成立していることが想定された。また、水域には東西水路内の海底にシルトが堆積し、環形動物や軟体動物等の底生動物の生息基盤となっていた。

事業の実施に伴い、陸域の生物・生態系の賦存地である植栽樹林は伐採により消失したが、地上部緑化や防風植栽等により約 11,000m² の植物が生育する基盤（土壌）を整備し、高木や中低木植栽等を施したことにより、新たな土壌動物等の生息環境や植物の生育基盤が創出された。地上部緑化は、北側の「海の森公園」と一体化した緑の帯を形成され、「海の森公園」の生物・生態系の賦存地と一体となった生物・生態系の賦存地が形成されたと考える。また、今後においても緑化整備を行う予定であることから、新たな生物・生態系の賦存地が形成されるものとする。

水域の生物・生態系の賦存地である海底の一部は、水門・締切堤の設置により減少したが、東西水路内には同様の底質環境が広く残存している。また、水門は締め切らずにスポーツ競技が開催される場合を除いて開門し、水門が締め切られた時は、水質保持のため、競技の実施条件などコース内の水質の状況等も踏まえながら、ポンプによる揚排水により海水交換を行う等、適切に管理することから、水域の生物・生態系の賦存地は維持されると考える。

イ. 新たな生物の生育・生息基盤の創出の有無並びにその程度

事業の実施に伴い、造成後に植栽された落葉広葉樹、常緑広葉樹、常緑針葉樹は伐採により消失したが、地上部緑化や防風植栽等として約 11,000m² の範囲に高木、中木等を植栽したこと、また、計画地の北側には「海の森公園」と一体化した地上部緑化を行い、計画地南側には常緑樹による防風植栽を設置したことから、新たな生物の生育・生息基盤が創出されたとする。また、今後においても緑化整備を行う予定であることから、新たな生育・生息基盤が形成されるものとする。

水域では設置された水門・締切堤の水際部において、潮間帯生物の生育・生息基盤が創出されているものとする。

2) ミティゲーションの実施状況

ミティゲーションの実施状況は、表 8.2-3(1)～(2)に示すとおりである。なお、生物の生育・生息基盤に関する問合せはなかった。

表8.2-3(1) ミティゲーションの実施状況(東京2020大会の開催後)

<p>ミティゲーション 実施状況</p>	<p>・地上部緑化として、約 11,000m² の範囲に地上部緑化を行う計画としている。</p>
<p>地上部緑化や防風植栽等として、約 11,000m² の範囲に緑化を行った。</p>	
	
<p>地上部緑化の状況 (計画地北側)</p>	<p>地上部緑化の状況 (防風植栽)</p>
<p>ミティゲーション 実施状況</p>	<p>・地上部緑化及び防風植栽として高木、中木等を植栽する。</p>
<p>地上部緑化及び防風植栽として高木、中木等を植栽した。</p>	
	
<p>高・中木の生育基盤の状況</p>	<p>低木の生育基盤の状況</p>
<p>ミティゲーション 実施状況</p>	<p>・水門は締め切らずに適切に管理され、スポーツ競技が開催される場合を除いては、開門している運用とする。</p>
<p>水門は締め切らずに適切に管理され、スポーツ競技が開催される場合を除いては、開門し、運用している。</p>	
	
<p>水門の状況 (東水門)</p>	<p>水門の状況 (東水門)</p>

表8.2-3(2) ミティゲーションの実施状況(東京2020大会の開催後)

ミティゲーション	・植栽した樹木は、定期的な灌水、除草、剪定等により適切に管理する。
実施状況	植栽した樹木は、定期的な灌水、除草、剪定等により適切に管理されている。
 <p data-bbox="355 766 571 795">地上部緑化の状況</p>	
ミティゲーション	・水門が締め切られた時は、水質保持のためポンプによる揚排水を行い海水交換を行う。
実施状況	水門が締め切られた時は、水質保持のため、競技の実施条件などコース内の水質の状況等も踏まえながら、ポンプによる揚排水により海水交換を行っている。
 <p data-bbox="392 1391 536 1420">揚水ポンプ</p>	

(2) 予測結果とフォローアップ調査結果との比較検討

1) 予測した事項

ア. 生物・生態系の賦存地の改変の程度

陸域の生物・生態系の賦存地においては、事業の実施に伴い、埋立て後の植栽林が伐採により消失したが、計画地北側等の緑地と一体となった地上部緑化等を行うことにより、新たな賦存地が創出されているものとする。また、今後においても緑化整備を行う予定であることから、新たな生物・生態系の賦存地が形成されるものとする。

水域の生物・生態系の賦存地においては、事業の実施に伴い、計画地内の底質環境の一部が減少したものの、水門の管理・運用について、水質を含めた底質環境の保全に努めており、賦存地は維持されているものとする。

以上のことから、予測結果とフォローアップ調査結果は概ね一致する。

イ. 新たな生物の生育・生息基盤の創出の有無並びにその程度

陸域の生物・生息基盤においては、事業の実施に伴い、埋立て後の植栽林が改変されたが、地上部緑化等を行うことにより、大会開催前の時点で約 11,000m²（計画地北側の地上部緑化約 7,600m²、防風植栽約 3,000m²）の基盤を確保した。また、今後においても緑化整備を行う予定であることから、新たな生育・生息基盤が形成されるものとする。

水域の生物・生息基盤においては、事業の実施に伴い、水門・締切堤が設置されたことで、水際部に新たに潮間帯生物の生育・生息基盤が創出されているものとする。

以上のことから、予測結果とフォローアップ調査結果は概ね一致する。